



図書館

だより



第7号発行
2019年6月14日

梅雨の時期を迎え、雨の日が多くなりま
した。室内で過ごす時間が増えると思
いますが、そんな時は、本を読んで楽し
い時間を過ごしてみませんか？



行ってききました！

図書館選書ツアー

三省堂書店 神保町本店

6月9日(日)、毎年恒例イベントとなった図
書館選書ツアーを開催しました。学生図書委員と
有志学生合わせて7名が参加。神保町にある三省
堂書店まで足を運び、図書館で所蔵する本選「選
書」を行いました。

三省堂書店本店1階から6階までの売り場
は、およそ14万点の本があるとのこと、その数
に圧倒されます。参加者のみなさんはたくさん
の本に囲まれながら、絵本や保育関連の本を中心
に、様々なジャンルの本を選んでくださいまし
た。今回のツアーで選んだ本は7月下旬頃、図
書館に届く予定です。どんな本が届くのかお
楽しみに！入荷は掲示板でお知らせしま
す。皆さんのご利用をお待ちしています。参
加して下さった7名の学生のみなさんあり
がとうございました。



有意義な実習となるために

図書館を活用しましょう！

2年生のみなさん、3週間の幼稚園実習お疲
れ様でした。子どもたちと過ごした思い出は、一
生の大切な宝物になるかと思えます。

1年生は、いよいよ幼稚園実習が始まりま
すね。緊張や不安もあるかと思いますが、実
りある実習となるために、図書館をフル活
用して、しっかりと準備学習に励みま
しょう！

図書館内には、実習に役立つ資料がた
くさんあります。たとえば、現場で役
立つ児童文化財に関する資料(絵本、紙
芝居など)、日誌や指導案に関する参
考図書、保育場面を映像で振り返る
DVDなど、たくさん資料が貯蔵され
ています。

また2階には、静かで落ち着いた環
境の自習スペースもあります。放課後
や授業の空き時間には、是非、図
書館に足を運んで、有意義な時間
を過ごして下さい。みなさん
のご来館、心よりお待ちしております。



先生のオススメ本

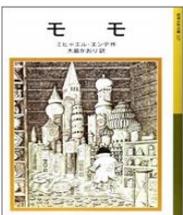
細田香織 先生



「不朽の名作」という言葉があります。時代を越
えて、いつになっても人々に感銘を与え、考えさ
せてくれる良書です。私のお薦めは、まさに不朽
の名作、『モモ』ミヒヤエル・エンデ(作)です。

2年生は、「こども学」の授業で映画を見ました
が、ぜひ本でも読んでいただきたい傑作です。大
人になるからこそ、子どもに携わるからこそ、生
きていく上で本当に大切なことを心において保
育に当たってもらえたらと願っています。『モモ』は、
ファンタジーを通してとても大切な「本質」を伝
えています。

作者エンデは、『サーカス物語』という本の中
でこんなメッセージを書いています。「あなたは自分
の知らないものに関して存在を認めません。そし
てファンタジーなど現実ではないと思うのです。
でも未来の世界はファンタジーからしか育ちませ
ん。私たちは自ら創造するものなからこそ、自
由な人間になるのです。」ファンタジーや想像力は、
未来を創る礎でもあるのですね。





【図書館だよりブックリスト】
 毎号、みなさんの「今」に寄り添う本をご紹介します。
 ぜひ図書館に来て手に取ってみてくださいね。
 わからないこと、知りたいことがあるときには、
 図書館スタッフに遠慮なく声を掛けてください。ご来館をお待ちしています！



☆癒しの本をどうぞ……☆

実習の準備に追われ、課題に追われ、何かと忙しい純真生のみなさん！癒しの本で心をほぐしてみませんか？
 実習や課題のための本を借りるついでに、こんな本でちょっと寄り道を♪

タイトル	著者名	出版社	請求記号	
1 がんばり屋さんのための、心の整理術	井上裕之	サンクチュアリ出版	159.6	In
2 「つらいな」と思ったとき読む本	中谷彰宏	あさ出版	159	Na
3 こまりくまブック	小鳥遊しほ	河出書房新社	159	Ta
4 ところがホッとする考え方	すがのたいぞう	PHP研究所	159	Su
5 メンタリストDaiGoの心を強くする300の言葉	DaiGo	セブン&アイ出版	159	Da
6 こぐまのケーキ屋さん	カメントツ	小学館	726.1	Ka
7 絵本からうまれたおいしいレシピ		宝島社	596.6	Ya
8 世界のかわいい本の街	アレックス・ジョンソン	X-Knowledge	024	Jo
9 岩合光昭の世界ネコさがし	岩合光昭	クレヴィス	748	Iw
10 美しい情景イラストレーション 魅力的な風景を描くクリエイターズファイル		バイインターナショナル	726.5	Pa
11 アライバル	ショーン・タン	河出書房新社	726.6	Ta
12 旅の絵本	安野光雅	福音館書店	726.6	An
13 Michi	junaida	福音館書店	726.6	Ju
14 アルチンボルド アートコレクション	リアナ・デ・ジローラ ミ・チーニー	グラフィック社	723.37	Ch
15 365日ハワイ1周 絶景の旅	TABIPPO	いろは出版	297.609	Ta

♪今号の図書館スタッフのおすすめ♪
 ~泣ける本…涙で心のお掃除を！~

おれはティラノサウルスだ

松本



「おれは
ティラノサウルスだ」
宮西 達也 作

恐竜が主人公のプテラドンの子供と天敵であるティラノサウルスとの種族を超えた友情のお話です。親離れた直後、悲しくて泣きつかれている時に自分を襲ってきたティラノサウルスは地震で大けがをしてしまうのを見ていました。お父さんから恐ろしさは聞いていたけど、お母さんから教わった困っている人がいたらどんな人でも助けてあげるのよという事を思い出し献身的に看病します。そして動けるようになったティラノサウルスをみてプテラドンは、お父さんから教わった生きていくための強さを思いだし、翼を広げさびしい気持ちのまま飛び立って行ってしまいます。。最後はティラノサウルスが感謝の気持ちを伝えられず悲しく切ないお話ですが、素直で無邪気な優しさが伝わってくるとても心が温まる一冊です。

大切な人への想いが詰まった本

大木



「おじいちゃんが
おばけになったわけ」
キム・フオップス・
オーカソン作

突然亡くなってしまったじいじがおばけになって、孫のエリックの部屋にやってきます。「この世にわすれものがある人はおばけになる」と知った二人は、夜になると一緒にわすれもの探しをします。じいじは一体なにをわすれてしまっているのでしょうか…身近な人の「死」がテーマになっていますが、とてもあたたかなストーリーです。大切な人と過ごす時間の積み重ねは思い出となり、人生の宝物になることをあらためて教えてくれる1冊です。実は私はこの本を子どもに読み聞かせすることができません。必ず途中で自分が泣いてしまうので…(^o^)